

第3学年1組 道徳科学習指導案

指導者

令和7年11月10日(月) 第5時限 3年1組教室

- 1 主 題 地域に伝わる文化を大切に〔C－(17) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度〕
- 2 教 材 二つの祭り(ひろしさんからの手紙のみ抜粋)(明るい心P34～35)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値観

自分が生まれ育った郷土は、その後の人生を送る上で心のよりどころとなる大きな役割を果たすものである。そのため、郷土での様々な体験など積極的な関わりを通して、郷土をよりよくしていこうとする態度を育成することが大切である。

中学年の発達段階においては、自分たちの郷土に対する理解が深まり、地域の行事や活動に興味をもつようになる。そこで、それらに興味をもつだけにとどまらず、地域の人々や伝統、文化に親しむことを通して、地域に積極的に関わろうとすることが大切な道徳的心情であると考ええる。

(2) 児童観

本学級の児童は、地域の伝統や文化に関心をもっており、1学期の総合的な学習の時間に国府宮神社について調べた際には、資料や見学などを通して意欲的に学ぼうとする姿が見られた。

しかし、地域の行事に自ら関わったり、地域の一員として参加しようとしたりする意識はまだ十分に育っていない。そこで、地域に受け継がれる「国府宮はだか祭」について、人々の思いや地域のつながりを知ること、地域の伝統と文化に親しみ、積極的に関わろうとする児童を育成したい。

(3) 教材観

本教材は、津島市の天王祭に参加するひろしからの手紙で、おはやしの練習を通して地域の人々とのつながりを感じるひろしの思いが書かれている。地域の伝統である大きな祭りに参加できることを嬉しく思うひろしの姿から、地域の行事を大切にする人々の思いを考える上で適した教材である。

そこで、実際に「国府宮はだか祭」に裸男として参加した経験のある地域の方をゲストティーチャー(GT)として招き、授業の様々な場面で意見をいただきながら話し合いを進めていく。GTから実際の体験談や思いを語ってもらうことで、児童はそれまでの印象をより深く実感的に捉えることができる。

指導にあたっては、教材に基づいて登場人物の気持ちを確認し、学習活動を展開する。まず、教材にある「大きな祭り」という言葉から、地域の「国府宮はだか祭」に発展させ、身近な視点から考えを深めていく。そして、これまでの「国府宮はだか祭」の印象について話し合うことを通して、祭りに参加し続けている人々の思いを考えていく。その際、タブレットPCで「心の数直線」を用いて、児童の祭りに参加したいかどうかの気持ちを可視化する。また、GTから児童の考えとは異なる視点で話をしてもらい、考え方のズレに触れることで、児童がより多角的に考えることができるようにする。教材やGTの話を通して、地域の伝統と文化にこめられている人々の思いをより深く考えようとする児童を育てていきたい。

4 指導計画 1時間完了

5 本時の指導

(1) 本時のねらいと評価

地域の祭りにこめられている思いについて考えることを通して、地域で大切にされている行事のよさに気づき、地域の伝統や文化を大切にしようとする心情を育てる。

【評価】(ワークシートの記述内容)

地域で大切にされている行事にこめられている思いに気づき、地域の行事に積極的に関わろうとする気持ちを述べている。

(2) 準備・資料

教師 提示用の教材 ワークシート タブレットPC コミュニティボール
児童 タブレットPC

(3) 関 連

本教材では、地域で大切にされている行事のよさに気付かせ、地域の伝統や文化を大切にしようとする児童の育成をねらいとする。そして、「昔からの味をつたえる野菜」では、伝統野菜を守る取り組みについて話し合うことを通して、国や地域の伝統や文化を守り伝えていくことの大切さに気づき、国や地域の伝統や文化を大切にしようとする児童の育成をねらいとする。

(4) 指導過程

〔本時の学習課題〕

◇ 主な発問

◆ 中心発問

段	分	学 習 活 動	指 導 の 手 だ て
導 入	5	1 GTの自己紹介を聞く。	○ GTの第一印象を尋ね、交流することで、話しやすい環境をつくる。
	2	2 本時の学習課題をつかむ。 (1) 本時のテーマを知る。	
展 開	3	(2) 稲沢市で昔から大切にされているものについて考える。 ◇ 稲沢市で昔から大切にされているものといえば、どのようなものがあるでしょう。 ・ 国府宮神社 ・ そぶえイチョウ祭り ・ ぎんなん ・ みつば 「地域の伝統や文化を大切にする」とはどういうことだろう。	○ 児童の理解を助けるため、「伝統や文化」を「昔から大切にされているもの」と言い換える。 ○ 意見が出なければ、社会科の学習などを思い出すよう助言する。
	5	3 教材の範読を聞く。	
展 開	10	4 「国府宮はだか祭」の印象について考える。 ◇ 「国府宮はだか祭」は、どんな印象がありますか。 ・ 楽しい ・ 屋台が出る ・ 人がたくさん集まる ・ 寒い ・ 痛い ・ けが人が出る	○ 教材に出てくる祭りから、自分たちの地域での大きな祭りについて想起するよう促す。 ○ 意見を出し合うときは、児童の指名で意見をつなげていく。(コミュニティボール) ◎ 意見を関連付けて整理するため、イメージマップの形で板書をする。 ○ 児童の印象に対して、GTの体験談を語ってもらう。 ○ イメージマップを色分けしながら、楽しい面や大変な面などを整理する。 ○ 「心の数直線」を用いて、祭りに参加したかどうかの気持ちを視覚化する。(タブレットPC) ◎ 意見を交流する際、級友のよいと思った意見をメモするよう促す。(ワークシート) ○ 意見を交流した後、GTから裸男として参加している人以外の関係者にも触れてもらい、そのような人々に対してどのような思いをもっているか語ってもらう。
	10	5 毎年多くの人々が「国府宮はだか祭」に参加している理由を考える。 【個→グ→斉】 ◆ GTはどうして毎年「国府宮はだか祭」に参加し続けていると思いますか。 ・ みんなで力を合わせるのが楽しいから。 ・ 頑張っている人から元気がもらえるから。 ・ たくさんの人が応援してくれているから。	
展 開	5	6 「国府宮はだか祭」への自らの関わり方について考える。 【グ→斉】 ◇ 「国府宮はだか祭」に対して、どのような関わり方ができそうですか。 ・ 裸男の人たちに水をかける。 ・ 「なおいぎれ」をもらいに行く。 ・ もみ合いに参加している人を応援する。	○ 祭りに「参加する」ことは、裸男として参加したり、笹を奉納したりすることだけではないことを伝える。 ○ 様々な関わり方の例を写真で示し、より幅広い視野で考えることができるようにする。 ○ 意見を交流した後、祭りに参加したかどうかの気持ちを再度「心の数直線」で視覚化する。(タブレットPC)
	5	7 本時の振り返りをする。 【個→斉】	
終 末	5		○ 考えを整理しやすくするために、振り返りの視点を与える。 ○ 児童の振り返りに対して、GTからメッセージをいただく。 ★評価の場面